



災害の備えはできていますか？

9月1日は「防災の日」

大正12年9月1日に発生した関東大震災は、死者・行方不明者10万5千人という大惨事になりました。「防災の日」は、この震災を教訓として、災害を防ぐための知識や心構えを広く国民に理解してもらうことを目的に制定されました。

大規模災害時には「初動体制」が重要になります。皆さんの地域においても、地震などの大規模災害が発生した直後には、まず何をすべきか、どう行動するのかを、家族や自主防災組織などで話し合っておきましょう。

非常時の物品を準備しよう！



いざという時に備え、緊急避難時に持って逃げる非常持ち出し品と、災害後の生活に必要な非常備蓄品を準備することが大切です。人によって準備するものが違ってきますので、どんな物が必要か家族で検討しましょう。

家具の転倒を防ごう！



家具の転倒による被害を防ぐため、タンス、食器棚などは動かないように固定しておきましょう。また、家具の置き場所、置き方によっても被害を少なくすることができます。使用中の家具をよく点検し、安全対策を考えておきましょう。

家族全員で話し合おう！



いざという時のため、家族の役割分担、避難場所、避難場所までの道順、家族との連絡方法などを家族全員で確認しましょう。

地域みんなで助け合おう！



地域住民などで助け合う自主防災組織に参加し、地域とのコミュニケーションを深めることで防災意識が高まります。各地域で行われている防災訓練に積極的に参加し、自分の身を守り、家族を守り、地域を守る力を身につけましょう。

地域の安全をみんなで守る 自主防災組織 を結成しよう！

地震などの自然災害には、市や関係機関が全力を挙げて防災活動に取り組みます。しかし、大規模な災害が発生した場合、①電話の不通②交通の阻害③同時多発する火災などで、その活動能力が著しく低下します。

このようなとき、隣近所の人と協力し合い、組織的に行動する「自主防災組織」による活動が、被害を最小限に食い止める大きな力となります。

▶自主防災組織の訓練に参加して「防災力」を高めよう。



自主防災組織の主な活動内容

日常の防災活動

- 防災知識の普及・啓発
防災講演会などの開催、防災パンフレットなどの作成
- 防災巡視・点検
避難用具の整備・点検、危険個所などの巡視活動
- 防災訓練
初期消火や避難誘導など、災害時に対応できる態勢づくり
- 防災資機材の整備
資機材の点検・更新・追加購入

災害発生時の防災活動

- 情報の収集・伝達
行政機関等からの情報収集・伝達、被害状況・避難状況の報告
- 初期消火活動
一致協力しての火災拡大防止
- 避難誘導活動
災害時要支援者を優先に、避難場所への誘導
- 救出・救護活動
資機材を用いての救出作業、負傷者の応急手当・搬送

市では自主防災組織の結成と育成を支援しています！ 問合せ：市庁舎本館危機管理課 TEL0897-52-1283